

## 富士通とアニコムがペット関連事業で協業 動物病院向けに医療の質を向上させる革新的なサービスを提供

富士通株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:山本正巳、以下 富士通)とアニコム ホールディングス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:小森伸昭、以下 アニコム)は、このたび、国内における動物病院向けクラウドサービスの共同開発と共同販売について協業することで合意しました。

今回、第一弾として、アニコムが国内 1,800 病院に提供している動物病院向け顧客管理ソフトウェア「アニコムレセプター」に、電子カルテシステムなどの診療支援や経営支援の機能を大幅に追加した、業界初のクラウド型動物病院向け医療支援サービス「アニレセ Fシリーズ」を共同開発し、2013年11月より販売開始します。これにより、本サービスを利用する動物病院はクラウド上で得られる統計情報などを活用できるほか、病院間での診療情報の共有や医療連携、業務効率化による顧客満足度の向上が期待されます。

今後とも、両社は、どうぶつ医療(注1)とICTにおける実績、経験・ノウハウ、技術を活用したサービスを展開し、動物病院がより高品質などうぶつ医療を提供できる支援システムの構築と、どうぶつ医療を起点として飼い主とペットが安心して暮らせる社会の実現を目指してまいります。また、トリミングサロン、ペットホテル、ペットショップといったペット関連企業向けのサービスにも取り組んでいく予定です。

近年、犬猫の飼育頭数は2,128万頭に達し、15歳未満の子どもの人数1,649万人を超えている中(出典:アニコム家庭どうぶつ白書 2012)、ペットの家族化が進んでいます。それを受け、病気や感染症、ケガなどを予防・治療するどうぶつ医療の質の向上を求める声が高まっています。

一方、動物病院では、一人で多くの科目を診療する全科診療型の医療を提供しており、広範囲にまたがる診療情報の管理や病気の傾向把握、診療技術の向上を、病院ごとで実施しています。また、昼間の診療だけでなく、夜間診療やMRIなどを利用する高度医療も求められるため、かかりつけの動物病院だけでなく、別の病院でもサポートできる二次診療の体制作りが必要になってきています。今後は、ICTの活用や地域の動物病院間での連携を進め、最新の治療技術や症例、患者どうぶつ病歴情報などをいち早く把握・共有することや、獣医師の負担を減らし診療内容をよりわかりやすく飼い主に説明するための業務支援が必要になってくると考えられます。

富士通とアニコムは、これらのニーズに応えるため、動物病院向けのクラウドサービスの開発・販売において協業し、どうぶつ医療の質を高める医療支援サービスを広く展開してまいります。また、この取り組みを通じて、各病院に点在する知見を、業界全体で共有・活用することが可能となるオープンなインフラの構築を目指してまいります。

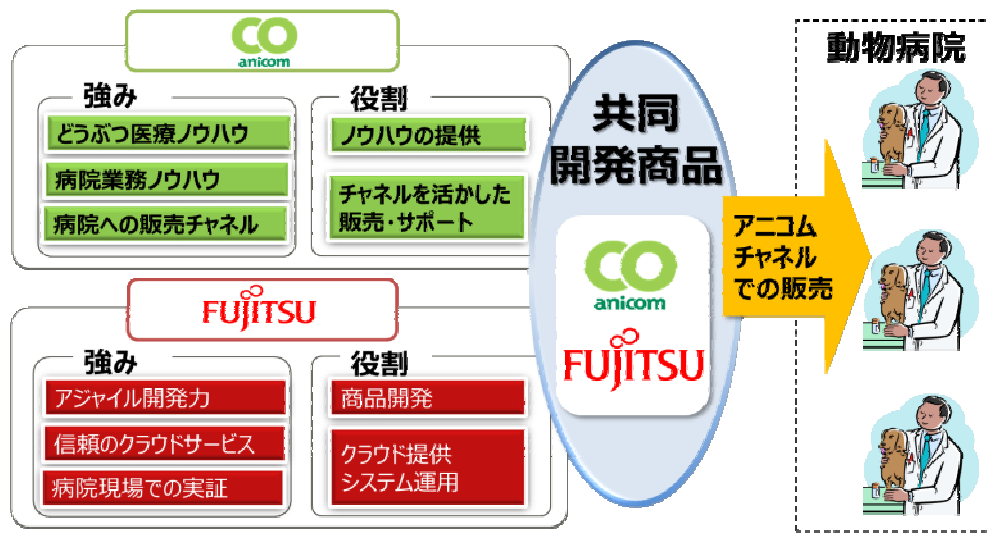


図 1.富士通とアニコムの協業体制イメージ図

【 ペット関連分野における両社のこれまでの取り組み 】

アニコムは、飼い主およびペットに向けて安心できる医療環境の実現を目指し、国内約 40 万人のご契約者にペット保険を提供するペット保険分野のリーディングカンパニーです。現在、グループ会社のアニコム パフェ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:大浦秀昭)を通じて、国内 1,800 の動物病院に対し、顧客管理ソフトウェア「アニコムレセプター」を提供し、活用されています。

富士通は、ICT の活用により、ビジネス・社会のイノベーション実現を目指す中、動物病院を初めとするペット関連業界の発展に寄与することを目的として、「どうぶつクラウド」(注 2)を推進し、2010 年より、一般社団法人 東京城南 地域獣医療推進協会様との地域医療連携の実証実験を開始しています。そのほかには、国立感染症研究所様ならびに有志の獣医師様との人獣感染症サーベイランスを可能とするための共同研究の取り組みや、東日本大震災で被災された飼い主の方々のペットを保護・管理する宮城県および福島県の被災動物救護センターの支援を行い、どうぶつ医療分野に広く携わっています。

このたび、アニコムのどうぶつ医療のノウハウや豊富な販売チャネル、富士通のクラウド構築技術や商品開発力を結集し、動物病院向けおよびペット関連事業者向けにサービスを展開していくことで協業していきます。なお、動物病院向け医療支援サービス「アニレセ F シリーズ」は、埼玉県川口市の「どうぶつの総合病院」(注 3)において実証実験を行っています。

【 「アニレセ F シリーズ」の概要 】

「アニレセ F シリーズ」は、一次診療施設、および夜間救急診療や高度医療などを提供する二次診療施設を包括的に支援するクラウドサービスです。

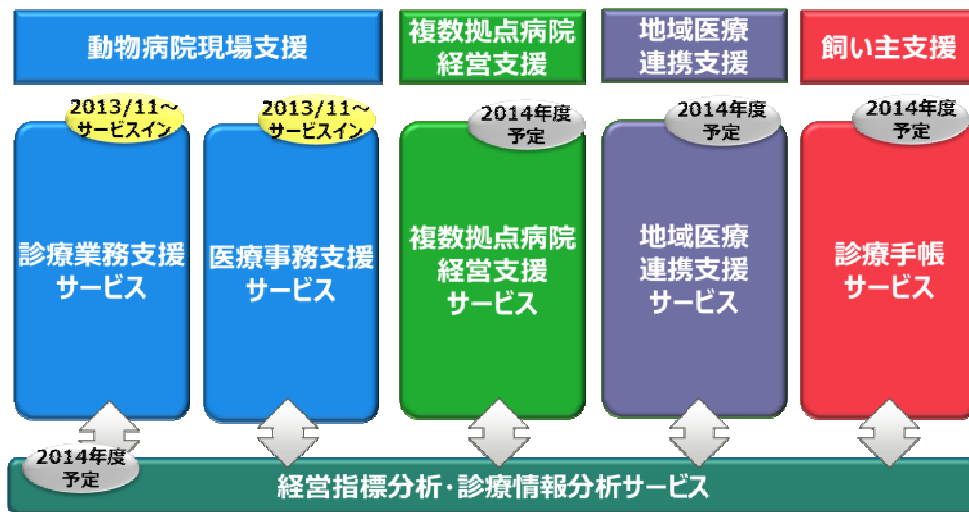
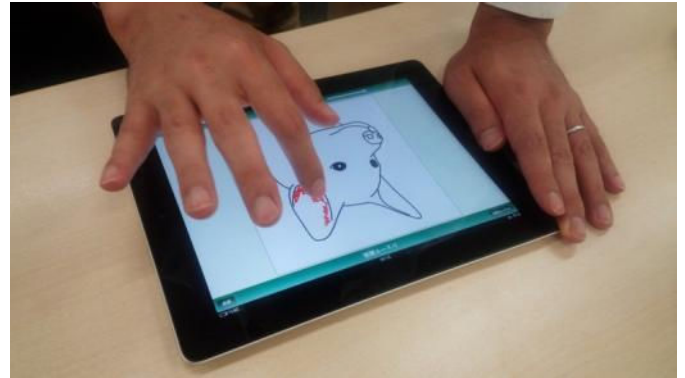


図2.アニレセ Fシリーズ商品体系



写真(左).診療業務支援サービスを用いた診療イメージ



写真(右). 診療業務支援サービスの入力イメージ

## **1. 診療業務支援サービス**

### **(1) クラウド上の統計情報を利用した医療の実現**

これまで個々の動物病院単独で取り組まなければならなかった診療や、診療技術向上に対し、クラウドに蓄積された本サービスを利用する全ての動物病院の統計情報を参照することができるため、最新の治療技術や症例などを共有することが可能になります。

### **(2) 飼い主にも理解しやすい診療を提供するための診療支援機能を搭載**

病気を動画や図解で表現するグラフィカルな説明ツールや、これまでのペットの病歴や病気ごとに診療情報を管理するプロブレム管理を分かりやすく画面上にまとめる機能を搭載し、難解な医療の説明も飼い主によりわかりやすく説明できるよう支援します。

### **(3) 病院内での診療情報共有による飼い主の満足度向上に貢献**

電子化された受付問診票や調剤指示、診療と会計の作業連携により、院内業務を効率化し、飼い主を待たせない病院づくりを支援します。

## **2. 医療事務支援サービス**

アニコムレセプターシリーズで培ってきた使いやすさ、わかりやすさをさらに発展させ、窓口での受付から診療明細書の発行といった、動物病院における事務手続きをスムーズに行うことが可能です。

## **3. 複数拠点病院経営支援サービス**

複数拠点を有する病院が、拠点全体で顧客情報や診療情報を共有することが可能になります。これにより、その中のどの病院に行っても過去の診療情報に基づいた医療を受けられるなど、飼い主が安心して通える病院づくりを支援します。

## **4. 地域医療連携支援サービス**

一次診療施設、夜間病院、二次診療施設での診療情報共有や、病院間での診察依頼や診察結果の回答をやり取りすることが可能なサービスです。これにより、夜間にかかりつけではない病院に急遽訪れることになった場合でも、適切な医療提供が可能になります。

## 5. 診療手帳サービス

飼い主が自宅から検査結果や食事指導、投薬指示などをパソコンやスマートフォンから確認することが可能になります。これにより、ペットの症状や注意点を家族全員が正確に把握することができます。また、かかりつけの動物病院と飼い主の間でコメントのやりとりを通じた治療後のフォローを行うなどの双方向のコミュニケーションを可能とします。

## 6. 経営指標分析・診療情報分析サービス

クラウド内に蓄積された経営情報や診療情報を分析し、来院傾向の把握による経営力向上の施策立案や、自病院の診療プロセスのチェックによる医療サービス向上を支援します。

### 【「アニレセ Fシリーズ」販売価格および出荷時期】

製品名	販売価格（税込）	出荷時期
診療業務支援サービス	13,000 円/月～	2013 年 11 月より
医療事務支援サービス	5,750 円/月～	2013 年 11 月より

※表示価格は2013年9月25日現在のものです。

### 【「アニレセ Fシリーズ」販売目標】

3,000病院へのサービス提供(2016年度末時点)

### 【関連Webサイト】

アニレセ F紹介サイト <http://www.anicom-pafe.com/system/anirecef.html>

どうぶつクラウド <http://jp.fujitsu.com/solutions/cloud/lineup/animal-medical.html>

TRVAと富士通、ペット医療の分野で実証実験を開始(2011年5月12日プレスリリース)

<http://pr.fujitsu.com/jp/news/2011/05/12.html>

日本マイクロソフトと富士通、東日本大震災で被災した保護動物の情報公開を支援する取り組みを開始

(2011年7月25日プレスリリース) <http://pr.fujitsu.com/jp/news/2011/07/25-2.html>

### 【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

### 【注釈】

(注 1) どうぶつ医療: 近年、伴侶動物(ペット)は我々人間社会にとってより身近な存在となったことに伴い、飼い主にとってペットは飼育対象としての「動物」とは異なる、家族としての「どうぶつ」へとその在り方が変化しつつあります。これらの背景にもとづき、富士通とアニコムは、ペットを従来の医療対象ではなく、共生する家族の一員として平仮名の「どうぶつ」と表現しています。

(注 2) どうぶつクラウド: 動物病院を初めとするペット関連事業者や国・自治体、飼い主などに富士通が提供する、ICT を活用した人とどうぶつの暮らしの向上(どうぶつの健康管理から医療の発展)を目的とするクラウドサービスです。ペットの一生の情報を活用したアプリケーションの開発や提供のほか、利用者が持つ情報をセキュアな環境下で共有・活用することが可能となる「ペットライフレコード基盤」を備えています。

(注3) どうぶつの総合病院: 埼玉南部夜間救急動物病院を前身とし、地域獣医師による地域どうぶつ医療の向上を目的に、夜間救急医療、二次診療、CT・MRIによる動物検診サービスを提供する、2011年12月にオープンした2次診療に特化した総合病院です。

以上

**《お客様お問い合わせ先》**

アニコム パフェ株式会社

アニコムレセプター サポートセンター

電話：03-6863-1122

受付時間：平日9:30～17:30 土曜日 9:30～15:30 (日・祝日休)

富士通コンタクトライン

電話：0120-933-200

受付時間：午前9時～午後5時30分(土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)

**《報道関係者お問い合わせ先》**

アニコム ホールディングス株式会社 経営企画部 塩澤

電話：03-5348-3911

富士通株式会社 広報IR室 片桐、平沢

電話：03-6252-2174 (直通)